

(一財) 松本ものづくり産業支援センター

NEWS

ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

第9号

令和4年8月発行

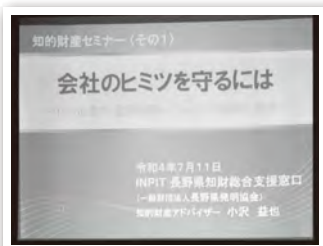
R4.3.13 こどもプログラミング体験教室



R4.2.2～2.4 テクニカルショウヨコハマ



R4.7.21 移住松本Round Table



R4.7.11 知的財産経営セミナー

目次

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介	3P
2 ものづくり支援担当活動トピックス.....	4~8P
杉本 守 アドバイザー	
豊口 稔 コーディネーター	
広橋 修 コーディネーター	
相吉 一浩 コーディネーター	
野尻 和彦 コーディネーター	
3 サザンガクからのお知らせ	9P
4 関係機関	10~15P
(1) 松本市 (商工課 工業振興担当、健康産業推進担当) (農政課マーケティング担当)	
(2) 松本商工会議所 (中小企業振興部 ものづくり支援グループ)	
(3) 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構	
(4) (公財) 長野県産業振興機構 松本センター	

ICT支援担当 新コーディネーターの紹介



宮島 正孝 コーディネーター

ご挨拶

令和4年4月よりICT支援コーディネーターに着任しました。
前職で培ってきたICTを用いて企業活動を支える情報基盤の整備に向けて支援してまいります。

IT活用による業務効率化の実現から更にその技術を活用してサービスや製品の可能性を広げられる様皆様の困り事に対し、最適な支援ができるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主な支援内容

1. 企業の皆様との相談・訪問対応を通して確実なニーズを把握し効果的なICT導入・活用のコーディネートを実施
2. 企業の皆様のICTスキル向上のための研修会やセミナーの計画・開催
3. 情報セキュリティ対策やリスク管理、BCPへの取り組みに関する支援

アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施してまいりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

得意分野

松本市工業ビジョンの推進事項である、①健康・医療分野、②食料品製造分野、③産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の推進に向け、当分野に関わる企業の皆様の課題・ニーズを重点的に聞きながら経営力向上に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①経営力向上に関わる支援全般
- ②革新的技術開発支援
- ③各種技術開発支援制度の申請支援
- ④ビジネスマッチング支援



豊口 稔 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンの3つの推進事項の重点的な推進を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。引き続き本年度も、6次産業化・農商工連携を重点として、関連する課題に取り組んで参ります。

主な支援内容

- ①企業間の強みを結びつけ、新価値創造を支援
- ②食品産業の商品開発・販路開拓支援
- ③各種展示会出展支援、新規市場開拓支援
- ④伝統産業などの販路拡大支援



広橋 修 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、3つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」・「製品力」の強化に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①製造拠点の現場力強化(QCD+PSME)支援
- ②製品力強化(新技術・新製品開発、ビジネスマッチング)支援
- ③次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

得意分野

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

主な支援内容

- ①IE技術を活用し、製造力強化(工場/工程設計、自動化/合理化/省人化等)支援
- ②次世代ものづくり人材の育成
- ③企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

得意分野

日々進化し続けるICT(※)にキャッチアップしながら、ICTを活用していかに企業活動を支えていくかを追求いたします。そのために、企業内及び企業外からICTを活用できる人材を育成していくことを支援していきます。

用語が専門的で敬遠しがちな方こそ、お気軽にお問い合わせください。

※ICT(情報通信技術): Information and Communication Technology

主な支援内容

- ①経営者向け、一般職員向け、中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等開催
- ②サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ③ICTの導入・活用による経営の高度化支援 DX推進支援
- ④ホームページ診断、ホームページの開設、ウェブショップ開設など、ICT関連の支援
- ⑤ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信、情報提供など

ものづくり支援担当

杉本 守 アドバイザー

関東経済産業局と松本市包括連携に基づく支援事業

①生産工程スマート化診断（無料）

中小機構の専門家チームが企業を訪問し、生産現場の確認、ヒアリングを通じて、「生産性の拡大」「業務の効率化」「生産工程の見える化」等の具体的な方策を提案する事業

1年次(昨年度):2社終了し、自動化に向けた次ステップへ展開中

2年次(本年度):新規受付中

②OIMSマイスター研修 in 松本市

OIMS(オープンイノベーション・マッチングスクエア)

日本能率協会コンサルティングによる中小企業支援者に向けた研修事業

中小機構のJ-GoodTechマッチングサイトを活用したマッチング研修

③データ活用ブートキャンプ（無料）

中小企業を対象に「データ活用人材」の育成を行い、地域企業のDX化を推進

1年次(昨年度):2社終了

2年次(本年度):1社スタート

補助金

松本市製造業等活性支援事業助成金（毎年継続）

市内の中小企業が、新たに共同研究・開発を行う場合(産学共同研究事業)や、新分野・異分野への展開又は新技術・新製品の開発を図る場合(新産業創出事業)の助成(100万円上限、補助率1/2、1事業1回)制度であり、特に市が推進する重点産業の場合には特定産業育成事業として助成率等が引き上げられます。(200万円上限、補助率2/3、1事業3回まで)

本年度は現時点で2社が特定産業育成事業としてスタートしていますが、新規テーマも受付中です。

中小企業庁 事業復活支援金(6月17日締切)

1社申請支援、採択 ⇒ 松本市第6波対応事業者特別支援金申請支援へ

中信地域自動化推進ネットワーク（参加費無料、研修等一部有料）

- ・現在、導入部会6社、自立化部会1社、SIer部会9社 計16社
- ・SIer部会企業が所有しているロボットを用いた相互研鑽交流がスタート
- ・SIer部会企業の得意領域(業界・業務)を整理し、自動化ニーズがある企業と適切なマッチングを行う為のSIer Mappingを作成中
- ・7月開催講座 機械系従業員のための機械制御講座
自動化前の工程改善に向けた人材育成

知的資産経営実践講座 長野県産業振興機構との共催事業（無料）

創業から積み重ねられてきた自社の強み(知的資産)を基にした経営戦略シートの作成を通じて、「知的資産経営」に関する個別企業の支援を行う。この活動を通じて、企業の業績の向上、事業展開に結び付けるきっかけづくりを行う。

昨年度、松本企業1社終了

今年度、松本企業2社スタート

豊口 稔 コーディネーター

知的財産権セミナー「会社のヒミツを守るには」を開催いたしました！

7月11日(月)にINPIT長野県知財総合支援窓口(長野県発明協会)から知的財産アドバイザー小沢益也様をお招きして、「会社のヒミツを守るには」～中小企業の営業秘密・ノウハウの保護と管理～と題しセミナーを開催いたしました。

本セミナーの主催は松本市、松本地域産学官連絡会(注)、松本ものづくり産業支援センター、後援は松本商工会議所、(公財)長野県産業振興機構。会場は松本市情報創造館庁舎5階マルチメディアホール(松本市和田)にて、聴講者20名の参加でした。開催に先立ちまして、主催者を代表して、松本市産業振興部商工課長山岸修様からご挨拶の後、小沢講師様から、情報漏洩事故の実例や、ケーススタディなどを交え約2時間のご講演をいただきました。



松本市商工課
山岸課長挨拶

- 会社には必ず“営業秘密”が存在する・製造ノウハウ・独自のレシピ・製品仕様・設計図・研究開発情報(計画、実験・失敗データ)・顧客情報・仕入先情報・販売情報(見積書、プレゼン資料)・各種契約(契約内容、関連情報)・他社から受け取った情報 など
- 大事な情報は、一度漏洩してしまうと決して元には戻らない！
- 事例 ①取引先との間で ②退職者との間で
③転職者の採用で、④展示会場でのアピールで
⑤工場見学で
- 営業秘密や・ノウハウを適切に保護、管理していくための課題と対策
- 先使用权による保護
- 秘密保持契約のポイントについて



講師：小沢 益也氏
(INPIT長野県知財
総合支援窓口
知的財産アドバイザー)

<プロフィール>

長野県出身。中央大学法学部卒業後、大手精密機器メーカーの知財部門にて約25年間特許業務に従事。2018年よりINPIT長野県知財総合支援窓口のアドバイザーとして中小企業等を支援。



(出典)経済産業省「【概要版】秘密情報の保護ハンドブック～企業価値向上にむけて～」2017年9月

※ 営業秘密にご関心のある方は、INPIT長野県知財総合支援窓口または松本ものづくり産業支援センターまでご連絡ください。

(注)「松本地域産学官連絡会」とは松本市内の中小企業者等への効果的な支援を行うため、産学官が一体となってネットワークを構築・運営する組織(H13年設立)。主な活動として、各種セミナー・企業見学会などの開催、情報の収集及び展開など。

コーディネーターから「松本市製造業等人材育成事業補助金」について

松本市では、地域中小製造業者の人材育成を推進し、経営力・技術力の強化を図ることにより、松本地域の製造業者が厳しい経済環境を乗り越え、活性化していくことを目的に、人材育成に関する補助制度を設けております。

【補助対象者】松本市内に主たる事業所を有する製造業又はソフトウェア業に属する中小事業者及びそのグループ等

【補助対象となる人材育成事業】次の団体が実施する研修で、営業力の強化、技術力の向上に資するもの

- ・中小企業大学校三条校 ・長野県産業振興機構 ・長野県工業技術総合センター
- ・ポリテクセンター長野支部 ・長野県松本技術専門学校 ・松本商工会議所
- ・松本ものづくり産業支援センター

※本補助金には、交付条件があります。詳細につきましては、お問い合わせください。

コーディネーターから「松本市製造業等販路拡大支援事業補助金」について

松本市では、展示会又は見本市に自社で製造または開発した製品や技術を出展し、海外を含む新市場の開拓や販路の拡大を求める場合の出展料(小間料)等を補助します。

【補助対象者】松本市内に主たる事業所を有する製造業又はソフトウェア業に属する中小事業者及びそのグループ等

【補助対象となる展示会等】国、地方公共団体等が主催、共催又は後援する展示会又は見本市

※本補助金には、交付条件があります。詳細につきましては、お問い合わせください。

広橋 修 コーディネーター

まつもと5Sプロジェクト（松本商工会議所共催）

2015年度に発足したまつもと5Sプロジェクトは、本年度で7年目を迎えました。

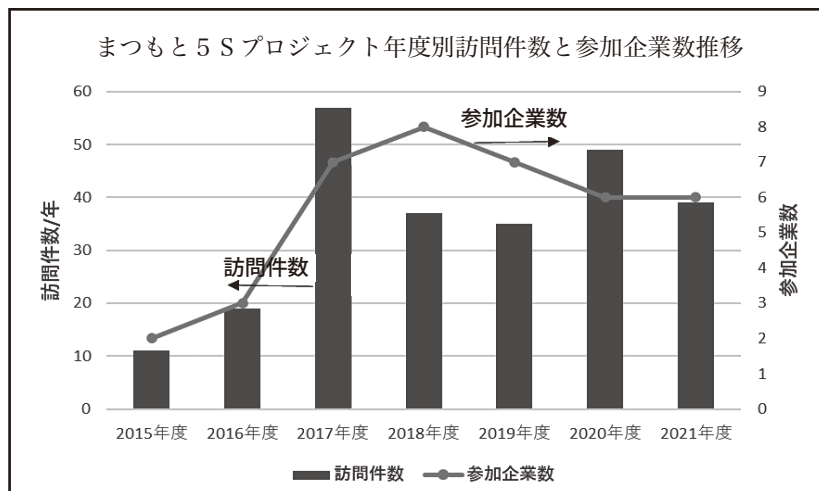
当初から県登録専門家の平井勝則氏のご指導により推進し、今までに15社が参画されました。

参加企業数はいくぶん減少傾向、訪問件数は横ばい傾向にあります。

今後は、5Sから工程改善へと繋げることで参加企業の満足度をさらに高める支援を行っていく予定です。

又、新型コロナウイルスのため2019年度から開催できていなかった5Sセミナーの再開も計画しています。

多くの事業所のまつもと5Sプロジェクトへの参加を募集しています。



まつもと5Sプロジェクトの参加企業と履歴

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
セミナー開催		●						
D社		● (研修会)						
N社		←→	参加					
C社		←→	参加					
A社			←→	参加				
T社			←→	参加				
MS社			←→	参加				
YM社			←→	参加				
S社			←→	参加				
MM社			←→	参加				
MP社			←→	参加				
YH社			←→	参加				
K社			←→	参加				
KT社			←→	参加				
W社			←→	参加				
KY社			←→	参加				
H社			←→	参加				

※ 各賞(金銀銅)は平井講師が定めた判定基準により採点し可否を決める。

第5期 次世代現場リーダー研究会（松本機械金属工業会主催）

昨年度開催予定であった第5期次世代現場リーダー研究会は新型コロナウイルス感染症のため本年度に延期しました。

本年度は9月キックオフで全8回（1回/月）開催予定です。各参加企業での開催と工場見学は従来通りです。

工場見学後の気づき（参考にした点、改善が必要だと思われる点など）のグループディスカッションを行い、結果を経営者に発表します。

写真は昨年5月に終了した第4期次世代現場リーダー研究会の工場見学とグループディスカッションの様子です。



相吉 一浩 コーディネーター

QCサークルリーダー研修の実施

QCサークル活動自体は、20年以上継続してきました。

また、会社上層部からは、よりお客様に対応した内容や不具合に関するものをテーマ化して欲しいとの想いがあります。

そんな中で下記悩みを抱えており、これらを少しでも解消する事を目的として、まずはQCサークルリーダーに対し、研修会を実施しました。

- a) 例年、新しい期がスタートして数か月経過しても、なかなか活動がスタート出来ない
- b) テーマ自体の選定は、サークル毎に任せている
- c) テーマが難しくなったり、システム化へ走る傾向があり、1年で終了出来ないものもある
- d) 発表会を年3回開催しているが、発表出来そうなものだけを選んで行っている
- e) 発表会の為のサークル活動になっている感じがある
- f) リーダーは毎年交代していて、既に入社数年の若手まで回ってきている
- g) 全体的に質が落ちている
- h) 効果が見えないものが多い

4/15(金):参加者15名

QCサークル活動の意義や、リーダーとしての心構え、そして、事前に提出して頂いた悩み事に対してどのように解決していけばよいかについてを、グループワークを中心とした内容にて実施しました。

6/10(金):参加者15名

QC7つ道具の使い方や、QCストーリーの進め方について、実際にグループワークにて体感して頂き、理解を深めて頂きました。

2回の研修を通して、QCサークルリーダーとして、自信を持ってサークルの旗振りをし、活発な活動になる事を期待しています。



QCサークル活動とは。。



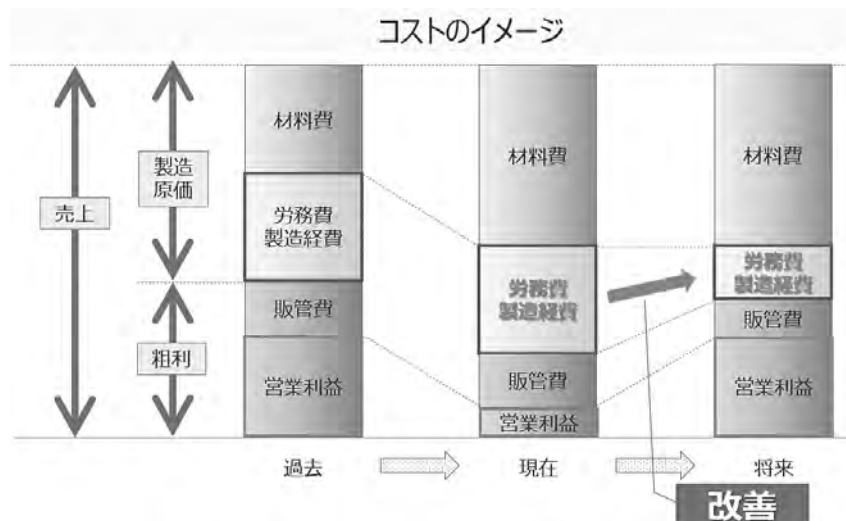
人を育て ⇒ 人を活かし ⇒ 業績を上げる！
しかも、早く！

個別支援内容の紹介

世の中全体が、非常に厳しい状況に陥ってきていますが、会社の中にいると、それがなかなか実感出来ません。売価の構造を理解頂いた上で、現状の製造原価を改めて棚卸を行い、正しく把握する事により、これから先、製造現場としては何をすべきか？を考えてみる活動を開始しました。

現時点では、原価の見直しから着手し、製品によっては売価の見直しの検討を開始しています。

全体の見直しが終了したところで、次のステップとして「労務費」や「製造経費」をどうやって削減していけばよいか？の改善検討に着手していく予定です。



ICT支援担当から

野尻 和彦 コーディネーター

令和3年度子どもプログラミング体験教室（2022年3月13日・27日）

～楽しみながら習うのが上達のヒケツ～

「児童・生徒向けのICT教育の充実」を目標として、2022年3月に、「子どもプログラミング体験教室」が開催されました。講師は、信州大学副学長不破泰教授で、対象は、小学5年生から中学生まででした。新型コロナウイルス感染症対策として、会場での短時間の講義・説明会と自宅でのゲーム制作が行われました。自宅での制作時の質疑応答もネット上の掲示板を通じて、先生から指導をうけられるようにしました。

講義の導入として、総務省制作のビデオ「5Gでつながる世界」(※1文末URL参照)を見ました。ICTが広く使われるようになった日本社会の近未来のイメージビデオです。自動運転のタクシー、遠隔診療、同時通訳など、これらを実現しているのはプログラミングであることをまず気にとめておいてもらいます。イメージビデオですが、いくつかの技術はすでに現実のものとなっています。

現在、身の回りにはたくさんのコンピューターがあります。コンピューターの形をしているデスクトップPCやノートPCのみならず、スマートフォンは立派なコンピューターです。さらに、テレビや冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど家電製品にもコンピューターが内蔵されています。テレビのリモコンにも小さいながらコンピューターが内蔵されていますし、自動運転ではないにしても自動車には10個から20個も内蔵されているのです。

コンピューターには計算や処理をするためのプロセッサが内蔵されています。ものすごい速度で計算をします。計算や処理をするための指令・命令の集まりがプログラムで、プログラムがなければ、コンピューターは動きません。そのプログラムを作ることがプログラミングというものです。プログラミングは一見難しそうですが、マウスで命令を並べていくだけでプログラムを作れる言語もあります。今回は、BASIC言語でゲーム・プログラミングに挑戦です。



過去のプログラム作品も含め、今回の2名の作品については、文末のURL(※3)にて参照いただけます。例題の川下りゲームを改良して、宇宙のシューティングゲームを制作したり、心臓マッサージのテンポを示すタイマーを制作したり、工夫とアイデアが光る作品となっています。

新しいことを始めるときには、いきなり難しい課題に取り組まないこと。プログラムは、ピリオドひとつの違い、アルファベットの大小文字の違いでも動かなくなることがあります。まずは注意深く例題をその通りに打ち込んで動作することの感動を味わってください。別の動きをさせるためにはどうすればよいのか、もっと複雑なことをするにはどうするのか、考えることが楽しくなってくるはずです。楽しみながら作っていると、いつの間にかプログラミングが好きになっていることでしょう。「楽しみながら習うのが上達のヒケツ」このことに気を留めながら続けていってほしいと思います。



※1 <https://youtu.be/ArRWXopUHAQ>

【イメージムービー】Connect future ～5Gでつながる世界～(3分ver)

※2 <https://youtu.be/ushSdmYtzmU> (上記ビデオの技術解説)

※3 <https://33gaku.jp/サザンガク動画-on-youtube/>
サザンガクホームページ「サザンガク動画」

今後は、初めてプログラミングを体験される方むけの初級編だけでなく、初級編を受講された方むけの少し高度な中級編も検討しています。企画が決定次第、募集いたしますので、楽しみにお待ちください。

コワーキングスペースの利用が好調です！

令和3年度のコワーキングスペース利用は大幅に伸びました。特に、首都圏などの都市部ではフルリモート勤務を推進している企業も多く、松本へ移住し、サザンガクの会員となってコワーキングスペースをオフィスとして利用するという方が増加しています。

また、月額会員やサテライトオフィスの入居企業の方々に講師になっていただき、定期的なイベントも開催しています。

● 令和3年3月 「オンライン会議ですぐ役立つ！プレゼン資料作成セミナー」

- ・講師 (株)アイデアプラス(サテライトオフィス入居企業)
- ・対象 市内中小企業にお勤めの方

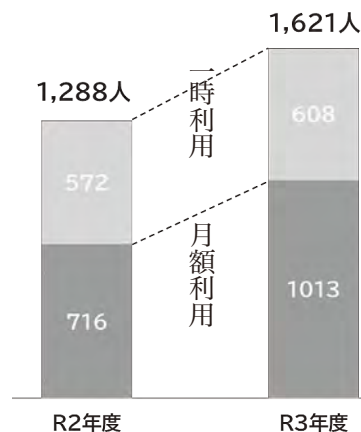
● 令和4年7月 「知らないと損をする!? お金にまつわる基礎知識」

- ・講師 行政書士 瀧澤重人氏
(コワーキングスペース月額会員)等
- ・対象 これから独立を目指す方、現在独立されている方

これからも、サザンガクに集う多様な方々とのつながりをもとに、市内でのビジネス展開を支援してまいります。

また、コワーキングスペースには、長野県よろず支援拠点や信州スタートアップステーションのコーディネーターが常駐していますので、無料で事業相談をしていただけます(要事前予約)。現在の事業でお困りの方、今後新たなビジネスに挑戦したい方は、まずはサザンガクまでお問合せください。

(コワーキングスペース利用状況)



(R4.7 お金にまつわる基礎知識)

テレワークオフィスのご案内

① 概要

33GAKU 業務支援サービスのご案内

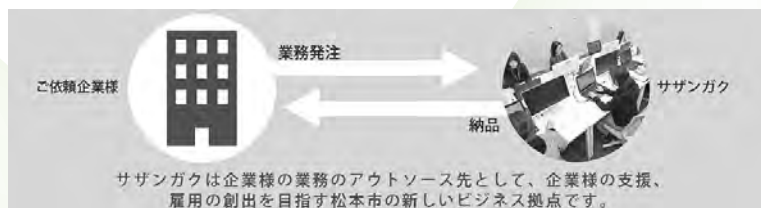
社内でやろうはもう古い?

「できない・進まない業務」はサザンガクで簡単解決!

このような課題はありませんか?

- ☒ 社内に専門知識を持った人間がない
- ☒ 担当者がメイン業務の片手間でやっているので、思うように進まない
- ☒ プロジェクトに合わせてその都度採用をしたり、協力企業を探すのが大変

② スキーム



③ 活用事例

WEB 制作
テンプレートを携えることで、低コストでWebページの立ち上げを実現いたします。

動画制作
広告用のショートムービーから、採用者向けの動画まで、専任の動画ディレクターがサポートいたします。

採用支援
Indeedに特化した採用支援で、低コストでも応募者が集まるようサポートいたします。

販促支援
新商品のPRから、既存のECサイト内での販促対策まで、幅広く対応させていただきます。

社員教育
ロジカルシンキングを始め、社員のスキル向上のためのセミナーや研修を実施いたします。

施策推進支援
各プロジェクトに参画し、スピード感をもって進行するようサポートいたします。

④ 無料相談フォーム



関係機関

(1) 松本市 (商工課 工業振興担当、健康産業推進担当)

松本市では、松本市工業ビジョンのもと、「健康・医療産業」、「食料品製造業」、「産業用ロボット等の高度な産業用機械」等重点産業の推進や、ICTの活用促進、健康経営の推進等、松本市の製造業の活性化のための施策に、松本ものづくり産業支援センターと連携して取り組んでいます。

1.所在地・連絡先

商工課 工業振興担当、健康産業推進担当
〒390-8620 松本市丸の内3-7
TEL.0263-34-3270、0263-34-3296
FAX.0263-34-3008、0263-34-3297
Mail:shoukou@city.matsumoto.lg.jp、kigyou-r@city.matsumoto.lg.jp

2.業務内容

(1) 工業振興担当

- ・工業活性化の推進に関すること
- ・産学官連携事業に関すること
- ・経営近代化の推進に関すること
- ・工業団地の管理に関すること
- ・成長産業の育成に関すること
- ・企業事務所の誘致促進に関すること
- ・地場産業振興事業に関すること
- ・ICT人材育成プラットフォームに関すること

(2) 健康産業推進担当

- ・健康産業の振興に関すること
- ・松本ヘルス・ラボに関すること
- ・ヘルスケアサービス等の実用化支援に関すること

3.各種助成・補助制度

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会等の出展に際し、経費の一部を補助します。

限度額 国内25万円 海外50万円

ヘルスケアサービス等実用化検証事業助成金

健康維持・増進への寄与が期待されるサービス等の実用化を支援します。

助成率3/4 限度額100万円
1事業1年度1回、3回限度

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究、異分野への進出など新たなチャレンジを支援します。

助成率1/2 限度額100万円 1事業1回

※重点的に育成を進めるべき産業分野の場合

助成率2/3 限度額200万円 1事業1年度1回、3回限度

ビジネスタイヤップ商談会事業

「諏訪圏工業メッセ」への出展料の一部を松本市が負担します。

諏訪圏工業メッセ 2022 10月13、14、15日

製造業等人材育成事業補助金

企業人材スキルアップのための研修費を補助します。

補助率1/2以内 限度額受講者1名2.5万円
1事業者10万円

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場等を利用して、新商品の開発等を行う場合、工場等賃借料を補助します。

補助額 賃借料の1/2以内 限度額8万円/月
期間12か月

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に事務所を新規開設等する場合、賃借料を補助します。

補助率1/2 限度額最大800万円
補助期間最長5年間

※事務所を取得する場合も別途補助が適用されます。

工場等設置事業助成金

工場団地等で、工場を新設、増設する場合、固定資産税相当額を助成します。

助成期間3年間

テレワークオフィス設置支援事業補助金

市内に新たに進出し、テレワークを実施するためのサテライトオフィスを開設する企業を支援します。

補助額 (1) 賃借料 1/2以内 限度額10万円/月
(2) 改修費 1/2以内 限度額200万円
(3) 備品購入費 1/2以内 限度額20万円
※(1)～(3)合計200万円以内

このほかにも、様々な補助制度があります。

松本市地域中核企業 支援事業補助金

松本市工業ビジョンで重点産業に位置付けた食料品製造業の推進のため、経済産業省の支援を受けながら、食料品・飲料製造事業者向けの補助金を令和2年度に創設しました。

1.対象事業者

松本地域農商工連携ブランド化推進協議会が認定する地域中核企業

- (1)経済産業省により地域未来牽引企業の認定を受けた企業
- (2)地域未来投資促進法に基づき、長野県から地域経済牽引事業計画の認定を受けた企業
- (3)地域再生法に基づき、長野県から地方活力向上地域特定業務施設整備計画の認定を受けた企業
- (4)その他、他分野を含め域内の他の事業者に大きな影響を及ぼす企業

※地域資源活用振興事業計画の認定事業者等

2.補助内容

	区 分	新 制 度
ア	活性化支援事業	・地域中核企業の実施する新製品・新技術の研究・開発に係る費用 補助率2/3以内 限度額500万円 3回以内
イ	販路拡大支援事業	・地域中核企業の実施する海外進出を目的とした展示会への出展 出展料及び借上料:補助率10/10 輸送費、通訳費、渡航費:補助率1/2 限度額100万円 3回以内 ・海外ECサイトの開設・出展等初期費用、口座開設、知的財産権出願等:補助率10/10 海外広告・宣伝等:補助率1/2
ウ	施設等整備事業	・地域中核企業が拡張、移転等に伴い事務所、工場等の新・増設を行う場合、その整備に係る費用 補助率1/10以内 限度額1,000万円
エ	施設等設置事業	・地域中核企業が施設等設置事業により新たに取得した家屋、償却資産の維持にかかる費用 補助率10/10 3回以内

(農政課マーケティング担当)

松本市では、松本市工業ビジョンの重点的推進事項の1つとして食料品製造業の重点的な推進を掲げています。

松本市農政課では、商工課や(一財)松本ものづくり産業支援センター等と連携しながら、農業者や食品製造業者の橋渡しを行っています。地元産農産物の原料供給先を探している、規格外の農産物を有効活用したい、農業者と一緒にってお土産を開発したい等、さまざまなニーズに対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

農業者以外の方も活用できる支援策として次の制度があります。

農畜産物販売促進事業補助金

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

- 補助対象者**
- (1) 農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
 - (2) 市内で農産物直売所を経営する者
 - (3) 松本市地産地消推進の店として登録された店舗の経営者(具体的には下記)

商品開発	補助対象経費：新たな商品開発に要する経費 (研究開発費、モニタリング費、パッケージ開発費) 補助率：1/2 上限額 2万5千円
販路開拓 (対面)	補助対象経費：県外及び海外における販路開拓のための物産展への出展、直売所交流に要する経費 (出展負担金、デザイン費・印刷費・資材費・広告費・通信運搬費・輸送費・旅費・装飾備品借上料・筆耕翻訳料) 補助率：1/2、出展負担金は10/10 上限額 県外25万円、海外50万円
販路開拓 (ECモール 利用型)	新たに EC モール(複数の事業者が出店又は出品している集合型の EC サイト)へ出店し、地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売することに要する経費(EC サイト運営会社に支払う利用料及び手数料、撮影委託費、文章作成委託費・SEO 対策費) 補助率：1/2 上限額20万円
販路開拓 (ECサイト 構築型)	地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売する EC サイトを新しく構築することに要する経費(EC サイトの構築及び運用に係る経費サイト構築費・利用料、撮影委託費・文章作成委託費・SEO 対策費) 補助率：1/2 上限額30万円

「松本市地産地消推進の店」登録制度

地産地消を推進するため、松本地域産の農畜水産物及びその加工品を積極的に取り扱う市内の飲食店等を「松本市地産地消推進の店」として登録し、広く周知する制度です。登録事業者には登録看板を交付します。

- 松本地域産品とは…………… 農産物は松本市、塩尻市、安曇野市及び東筑摩郡産のもの
畜水産物は長野県内産のもの

- 飲食店、宿泊施設等……………松本地域産品を主とした複数の料理を年間又はシーズンで
店内表示・提供
- 食品加工事業所等……………製造する加工食品の主な材料が松本地域産品で、商品にその
旨を表示
- 直売所、小売店、量販店等………松本地域産品の売場を設置し、わかりやすく表示・販売
(概ね8カ月以上)

(登録看板)



お問い合わせ：松本市役所産業振興部農政課 マーケティング担当 ☎390-8620 松本市丸の内3番7号 電話34-3221

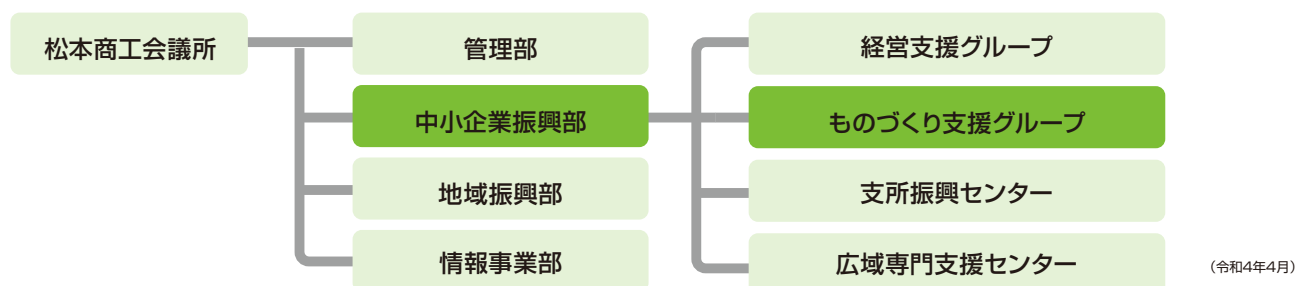
(2) 松本商工会議所 (中小企業振興部 ものづくり支援グループ)

1.所在地

〒390-8503 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館 1F
TEL.0263-32-5350
FAX.0263-32-1482
ホームページ:<https://www.mcci.jp/>



2.組織



3.令和4年度重点事業

創立114周年となる本年度、地域総合経済団体としての使命を改めて認識し、「より多くの支持と信頼を得られる商工会議所」を目指して、コロナ禍の中、真に必要なとされる商工会議所として各種支援事業を推進して参ります。

ものづくり企業支援事業

1.まつもと広域ものづくりフェア

2022年11月11日(金)～12日(土)

会場：松本市中央公民館・体育館(Mウイング) 松本商工会館

●信州まつもとビジネス商談会(11日)

事前マッチング制による商談会を実施し、全国の企業に対し受注・発注の開拓に繋がる場を提供。

●松本・塩尻・安曇野企業説明会(11日・12日)

就職を控えた学生やその家族、一般市民に対し広く地元企業の製品や技術力をPRし、人材確保や知名度の向上に繋げる説明会。

●ものづくり体験教室(12日)

当地域の将来を担う子どもたちにもものづくりに関心をもってもらうための体験教室。

2.中南信エリア 自慢の逸品発掘・売込逆商談会

開催方法、時期、会場 調整中

中南信27商工団体が推進役を担い食品製造業者とバイヤー企業との食品商談会を開催します。WEB商談会または対面式での商談会を開催し、中南信の食品製造業者の販路拡大を支援します。1月下旬予定。

3.次世代現場リーダー養成(松本機械金属工業会共催事業)

製造業者の経営力向上を目的に、将来を期待されている製造現場や管理現場におけるリーダーの養成と現場改善を目的に開催します。

4.各種補助金申請支援・事業計画策定支援

新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、前向きな事業展開に取り組む事業者を支援する各種補助金制度(小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金など)の申請支援と、事業計画策定支援を実施しています。

5.従業員向け能力開発研修会・セミナー

松本市中小企業能力学院(松本商工会議所研修センター)において、従業員のスキルアップに関わる資格対策、人材育成といった各種研修会を開催。また松本市製造業等人材育成補助金の活用を推進します。(実施例)日商簿記受験対策、初級管理者養成、現場リーダー養成、労務人事管理、WEB活用セミナー、構造物鉄工作業技能士受験対策、とび技能士受験対策等

6.松本工業高等学校への支援

関係機関との共催事業として実習用工具支援、松本工業高等学校人材育成支援ネットワークと連携して、生徒による企業見学会、高校での企業説明会等を実施しています。

7.貿易証明書発行

原産地証明書・インボイス証明・各種サイン証明等の発給を通じて、企業の海外取引等をサポートします。

松本商工会議所本所と(一財)松本ものづくり産業支援センターで発給可能です。

8.関係団体、関係機関との連携

松本商工会議所ものづくり工業部会をはじめ、松本機械金属工業会・青年部、中信溶接協会・松本工業高等学校人材育成支援ネットワーク等の団体、松本ものづくり産業支援センターなど支援機関との連携をして参ります。

(3) 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

1.所在地

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 (信州地域技術メディカル展開センター1階)
TEL.0263-37-2091 FAX.0263-37-3049
Mail:ken-sui@shinshu-u.ac.jp
ホームページ:<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo/>

2.信州大学 学術研究・産学官連携推進機構の紹介

大学には、基本的使命として「教育」と「研究」に加え、第3の使命「社会貢献」が求められています。信州大学は、教育、研究の付加価値を高め、知の成果を積極的に社会へ還元するため、産学官連携を積極的に進めています。その窓口として、学術研究・産学官連携推進機構を位置づけています。

◆知(地)の拠点の活用&大学内のインキュベーション施設

松本、伊那、佐久、善光寺の主要4圏域に配置されたキャンパスと学内のインキュベーション施設。各インキュベーション施設は、共同研究等のために活用できます。

長野(教育)キャンパス	長野(工学)キャンパス	上田キャンパス	松本キャンパス	伊那キャンパス
◎所在地/長野市 ◎学部/教育学部	◎所在地/長野市 ◎学部/工学部 ◎インキュベーション施設/信州科学技術総合振興センター(SASTec)、国際科学イノベーションセンター(AICS)、長野市ものづくり支援センター(UFO)	◎所在地/上田市 ◎学部/繊維学部 ◎インキュベーション施設/ファイバーイノベーション・インキュベータ施設(Fii)、先進植物工場研究教育センター(SU-PLAF)、オープンベンチャー・イノベーションセンター(OVIC)、上田市産学官連携支援施設(AREC)	◎所在地/松本市 ◎学部/人文学部、経法学部、理学部、全学教育機構(共通教育)、医学部 ◎インキュベーション施設/信州地域技術メディカル展開センター(CSMIT)	◎所在地/南箕輪村 ◎学部/農学部

◆先鋭領域融合研究群(部局横断型研究)

- (1)新たな学問領域の創出を視野に、学際・複合・新領域に取り組み、社会実装までを見据えたイノベーションを起こす「先鋭材料研究所」、「バイオメディカル研究所」、「社会基盤研究所」の3つの研究所。
- (2)特定領域において、本学の個性と特徴ある研究を集約し、信州大学の強みを伸ばす「国際ファイバー工学研究拠点」、「山岳科学研究拠点」、「航空宇宙システム研究拠点」の3つの研究拠点。

先鋭領域融合研究群の詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/iccer/>

◆SOAR(信州大学 研究者総覧・機関リポジトリ)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/soar/index.php>

信州大学の研究者の情報と研究成果を確認いただけます。

共同研究、受託研究等、連携のための検索にお役立てください。

◆研究紹介デジタルパンフレット

<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/media/publications/>

学部ごとに研究者とその研究テーマを紹介しています。

共同研究、受託研究等、連携のためにお役立てください。

◆産学連携ガイド

<https://www.shinshu-u.ac.jp/cooperation/>

信州大学への技術相談の方法、連携の形態や方法などをご案内しています。

具体的にご相談されたい内容が決まっている場合はこちらをご覧ください。

(4) (公財) 長野県産業振興機構 松本センター

1.所在地

〒390-0852 長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780 FAX.0263-47-3380
Mail:nice-matsumoto@nice-o.or.jp
ホームページ:https://www.nice-o.or.jp

アクセス
●JR松本駅より 徒歩30分、車で10分
●長野自動車道 松本ICより車で2分



2.組織

長野県産業振興機構は2022年4月に長野県中小企業振興センターと長野県テクノ財団が合併して発足いたしました。長野市の本部と5つの地域センターからなり地域の産業をサポートします。

松本センターは松本市、安曇野市、塩尻市、大町市および北安曇郡、東筑摩郡、木曽郡の町村を担当しています。

3.メンバー構成 (2022.4月現在)

センター長、テクノコーディネーター、地域連携コーディネーター、受発注取引推進員、県産品コーディネーター、エリアコーディネーター、アシスタント

4.設立目的

技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援し県内産業の発展と地域経済の活性化に寄与する。

5.業務内容

① 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、相談支援を行う。

② 産学官交流事業

松本地域の地方自治体、商工団体、関連機関、県内大学、高専、公設試が一堂に会するアルプス広域コーディネーター連携事業を運営する。また大学・高専・企業との産学官連携交流事業を実施する。

③ 新産業創出・経営革新支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発などの新たな展開を支援するため、研究会事業を企画・運営するとともに、他機関と連携して新産業創出に資する事業に取り組む。

- コーディネート活動事業
- アルプスイノベーション研究会事業
- 松本地域産業活性化事業
- 中南信自動化支援事業
- 「旬」の技術研究会事業

④ 共同研究等推進事業

提案公募型研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行う。

⑤ マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、斡旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行う。

⑥ 人材育成事業

地域企業における新技術・新製品の研究開発や実用化に資する技術人材の育成やものづくり現場に必要な最新技術の導入支援等により地域産業の活性化と高度化を促進する。

- 価値づくり力パワーアップ講座事業
- 夏休み親子ものづくり教室事業
- 技術者のための実務教育パワーアップ講座事業
- 地域企業人材挑戦力育成事業

